

コロナ禍における 住民の工夫と取り組み

～つながり続けるために～

事例 1



ゆめ伴プロジェクト（大阪府門真市）



公益財団法人さわやか福祉財団

理事 鶴山芳子



「一度会えたらうれしいね

ガンバって会える日をお待ちしています」(87歳)

事例 1

心でつながる 文通 プロジェクト

～高校生からお年寄りに

届けられた
28通のラブレター～

「早くお会いしたいです！」(高3生)

ヨイさんへ
お返事ありがとうございます。
リユマチで手紙を書きました。
87才のオバアジさんへ
いつもお花が好きで、
なかみ痛くて外に出ないで
月あうちで「カンバリ」ました
ユマチで「雨の前日は午
図ります
一度会えたらうれしい
カンバって会える日を
待ちしています

八良さんへ
お返事ありがとうございます。
リユマチで手紙を書きました。
返事
体調大丈夫でしょうか？
ヨイさんがお花が好きだと伺った
今回はお花の便箋にしてみました
ヨイさんはどんなお花を育てていらっ
一度、ヨイさんの育てているお花拝見
ヨイさんは好きな食べ物やお菓子
私は、アイスクリームが大好きで、サー
ハーゲンダッツのアイスクリームを毎日
ヨイさんが昔やっていた遊びや流
などありますか？私は家庭科の
しましたが全くできませんでした
早くヨイさんとお会いしたい



高校生企画

9月15日 自粛中から文通を続けてきた大阪府立門真なみはや高校3年生
と高齢者たちのウェブ交流会が実現！



ナーシングホーム智鳥 ZOOM大阪エリ



門真レジデンス



iPhone

こんな若いお嬢さんにお手紙をもらうなんて、思ってもみなかった。返事を読んでくれてありがとうございます(103歳羽場さん)

自己紹介の時に手を振ってくれてうれしかった

マスクを取って顔を見せて!

夕べは眠れな
いくらいドキ
ドキした

今日のために
服を買った!

ウェブ交流会 in門真なみはや高校

福祉コース3年生12名と3つの施設で暮らす地域の高齢者(80代~103歳)5名の交流



介護者に希望のマスク



「ゆめ伴プロジェクト」は、高齢者施設やケアサービスの利用者が、自分たちで作ったマスクを「家族の会」に寄贈する活動です。

夢かなえマスク

ゆめ伴プロジェクトin門真

認知症の人と市民や介護・福祉の団体や行政が共に楽しむことで認知症になっても輝けるまちづくりに取り組んでいる
(市内の高齢者施設、社協、NPO、行政等のメンバー12名)

ゆめ伴プロジェクトin門真

「認知症になってもキラキラと輝けるまちを」

感染防止のために自粛は仕方がないことですが、人とつながりを見失うことで精神的なダメージは高齢者にとって計り知れないことと感じています。

こんな時だからこそ、認知症の人や要介護高齢者が**地域社会とつながりを感じられることが重要**と取り組みをしました。
(総合プロデューサー 森安美さん)

会えないけれど、心のつながりを切らずにつなげる方法を

誰かの「つぶやき」や「ささやき」を拾いそれを実現するために知恵を出し合い

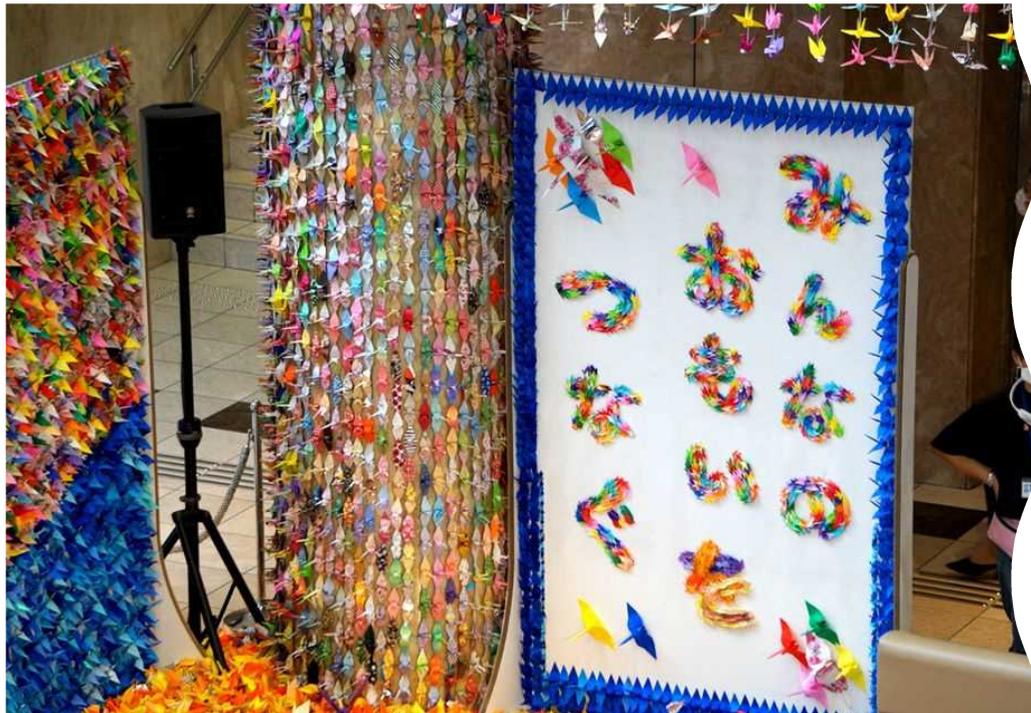
地域みんなで実行している

「やってみることが大切」

「感動を共有することが理解者の広がり」

集い型地域活動→ステイホーム型地域活動

(家での取り組みで社会とのつながりを実感できる)



かどま折り鶴12万羽プロジェクト

離れていても心は
ひとつ

主催：門真市のルミエールホール

共催：ゆめ伴プロジェクト、

リサイクル工房布くらふと



子どもから高齢者まで、自宅で色々な
想いをこめて鶴を折り、感染状況が
改善された後に、その折り鶴たちを
集めて一つの折り鶴アート作品に
仕上げる・取り組み

12万羽とは、門真市民12万人

いつ来てもいい いつ帰ってもいい

事例 2

いつでもだれでも型居場所
(火～土曜日開催)

コロナ前



街の居場所もうひとつの家 → コロナ禍 → 新しい活動

たすけあい遠州 (静岡県袋井市)

コロナ前

一緒に食べる

駅前商店街空き店舗
多くの人
出あいふれあい、
助け合う関係が
生まれていた

地元の野菜・季節の野菜・行事食



一人の食事は 淋しいけど…
ここでバランスが 摂れる…
毎日でも この 値段なら…
食事…プラス…があるから

ランチ300円 土曜日はカレーの日 200円 子どもと80歳以上は無料

「変わることを楽しむ」

「寄付者の
気持ちを
粗末にし
たくない」

3月

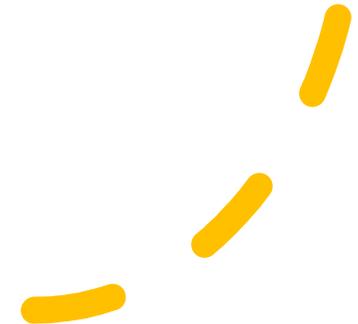
居場所を閉じる

「コロナ禍 この間スタッフみんなで何度も
何度も話し合った」

「共感し、すぐに行動する仲間がいたことに
感謝」

4月 20年間続けてきた居場所を閉じることに

5月 **新しい活動**を始める



NEXT

心と心をつなぐ工夫と取り組み

<静岡県袋井市>

変わることを楽しむ（たすけあい遠州）
（出前居場所・青空居場所・我が家のごはん届けます）

新しい活動



青空居場所

(月1回。昼食200円)

気持ちのよい空気と景色の中で距離を保ちながら昼食やおしゃべりを楽しむ

新しい活動

気になる人の家で
手づくり弁当と
おしゃべりなどを
楽しいひと時を
一緒に過ごす

出前居場所



新しい活動

我が家の ごはん 届けます

毎週火・金曜日

10食程度を
料理が得意な人4~5人
が交替で

自宅で作ってお届け
ねらいは声をかけ、
交流すること

作るほうが
元気をもらえる！

「日常やっていることをちょっと
2・3人のために！」
という人を見つける
そのような人を増やすことも
助け合いを広げるには大切なこと



コロナ禍でも 心と心のつながり を続けるために 私たちに 何ができるか

「実家の茶の間 紫竹」

(新潟市)

人と人がつながり、人と社会が
つながって生涯現役の場。

「ここはサービスの利用者はひとりも
いない、いるのは場の利用者だけ」

地域の宝でもある。(代表 河田瑛子さん)

新潟市の地域包括ケア推進モデルハウスの基幹

6月1日から再開

自粛中にも当番や参加者から、
再開後「何ができるか」 みんなの意見を聞いた。

市のガイドラインを基に、みんなの声を反映し、
議論をし、みんなのガイドラインを作って運営を
始めている。

「受け身体」をつくらない。住民主体の居場所。



実家の茶の旬
赤ちやんからお年寄りまで
どなたでも
お気軽においで下さい

参加費300円
食事代300円
毎週月水

10時~16時

紫

行



コロナ前



コロナ前



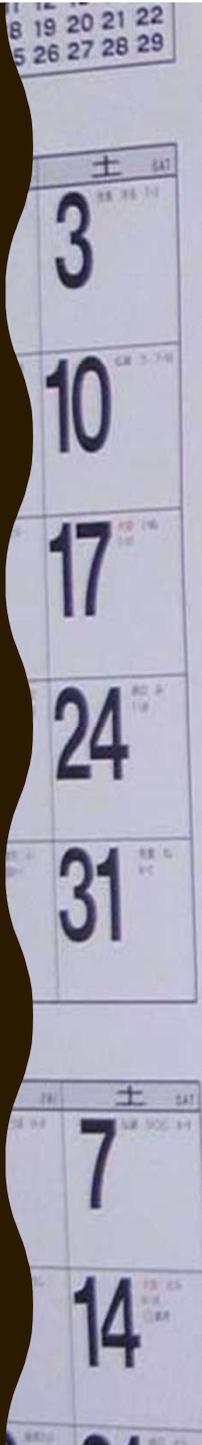
コロナ前



コロナ前



コロナ前



今日の食材

7月17日(水)

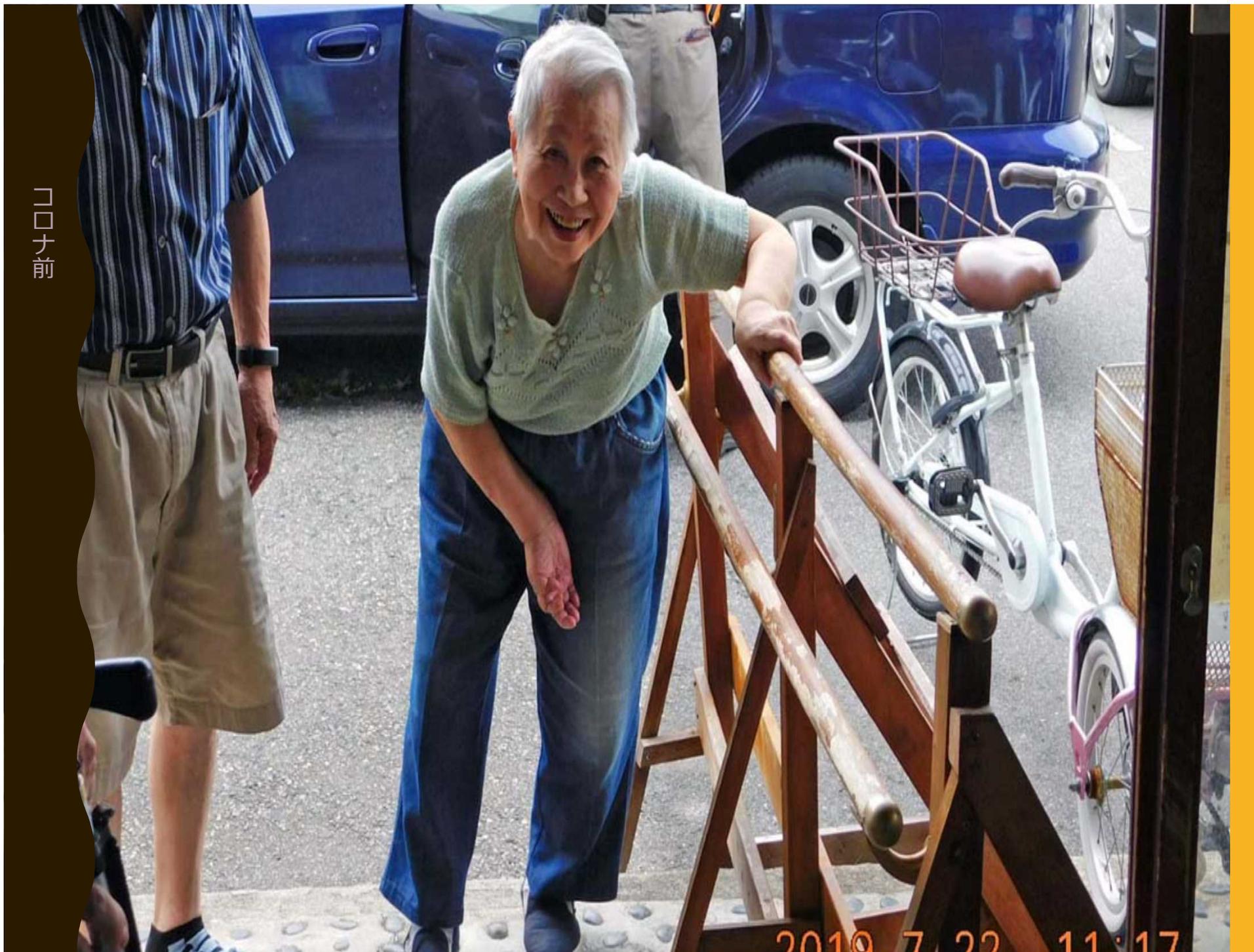
大根	根	もやし	肉
ごぼう	ぼう	しいたけ	わか
人参	参	きのこ	めん
じゃがいも	芋	豆腐	豆
玉ねぎ	ご	豆腐	菜
水	菜	厚焼	生
キャベツ	ツ	油	瓜
白	菜	油	煮
		ニル	



コロナ前



コロナ前



2019 7 22 11:17

コロナ前



2019 7 22 11:18



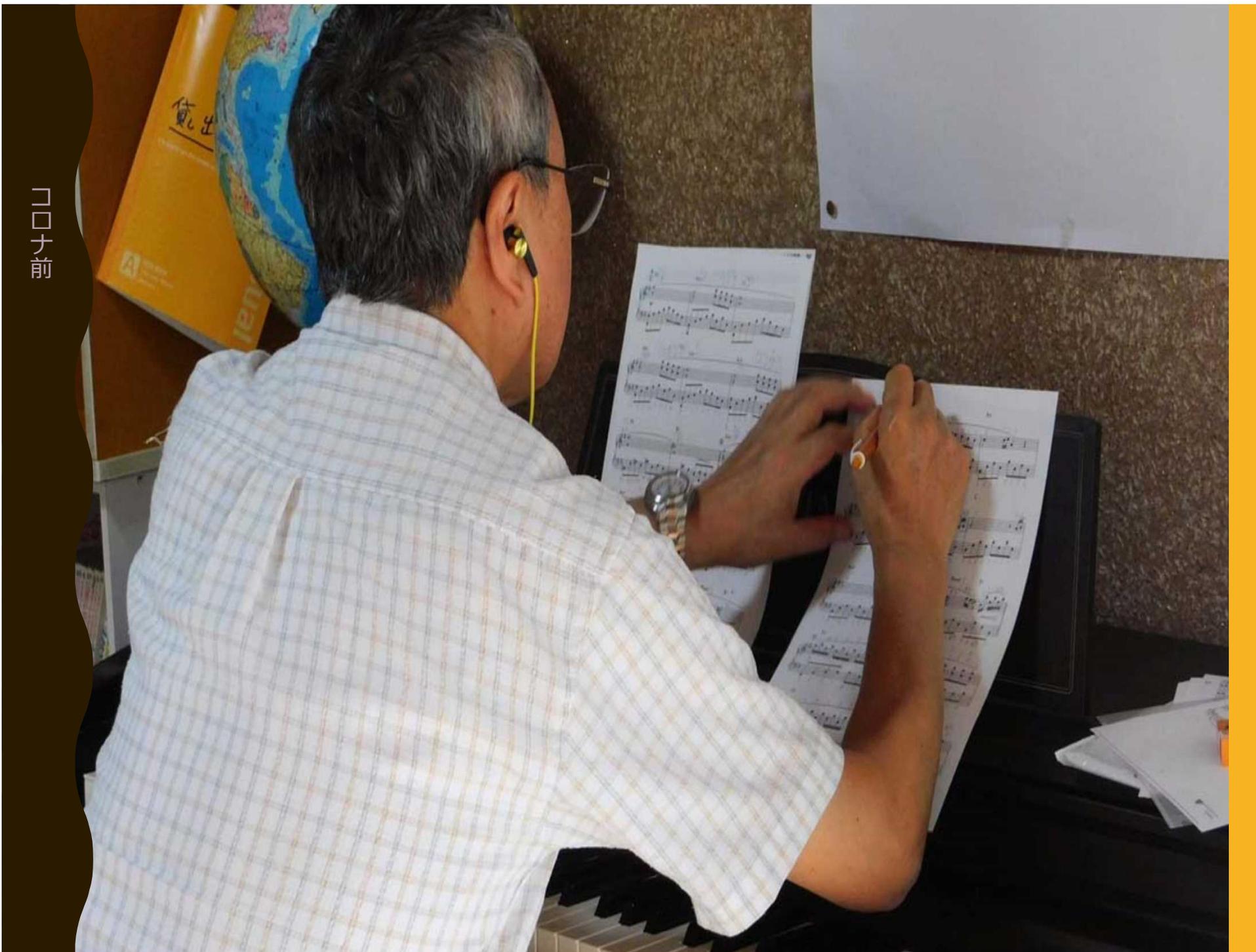
コロナ前



コロナ前



コロナ前



コロナ前



コロナ前



3月～4月 閉じる（月、水は河田さんや手を挙げた当番が対応）
代表者と当番は2週間に1回参加者に電話を掛けた。

5月「実家の手」（参加券）を回収すると参加者に声をかけ、
“新しい茶の間”の再開に向けて「何をしていきたいか」
聞いた。

「実家の手」はちょっとした助け合いのお礼にも使える
もの
自粛中、買い物の代行や見守りなど、自然に助け合う姿も
見られた。



現在

月・水開催 2時間（自分で判断）

玄関で大きな注意事項ポスターが迎えます。

こちらで
お名前を
お聞きしたり
お熱を計らせて
いただきます
参加証に
記入下さい

当面の間
参加時間 2時間まで
参加費 200円
(コーヒー・あめ・紙コップ・ティッシュ・
洗剤・トイレットペーパー・町内会費・
ボランティア保険等)

実

連絡先参加証と注意書きを渡します。

感染防止をしながら、
新しい茶の間をみんなで
つくろう！

令和2年6月1日
新型コロナウイルス感染防止を踏まえた「実家の茶の間・紫竹」
河田 桂子
9時30分 より 当番打ち合わせ（当番は手上げ方式）
今まで通り、すべての参加されている方に、できることを一緒にやる習慣を大切にすることで、そのことが結果的に感染予防につながります。

- 1、 アルコール消毒（朝、昼、夕方、その他随時）は、手に触るところすべてにコロナウイルスがあるという前提で手すり、ドア、机、椅子の手すり、トイレ便器や手に触れるところ、手洗い場の蛇口、玄関のボールペン、検温器、押して歩く椅子、電話機、筆記用具、ボールペン、コーヒーの持ち手、等々）
机の配置、座る位置は2メートル離し、向き合わないように設定し、きれいな張り紙で目印や、座布団の数に注意。
- 2、 受付は当面はノートではなく、用紙に必要事項の記述式です。非接触体温計も用意しましたので、ご自宅で計ってこられなかった方に検温をお願いします。正しい数値をお伝えし、記述確認をお願いします。
- 3、 船の用意（マスクを外す機会が増えるためお菓子はなし）、個人

<参加証>

日時	令和2年	月	日	()
			時	分
名前			区名	
電話番号				
*現在の熱は? _____ 度				

新型コロナウイルス感染防止を踏まえた 「実家の茶の間・紫竹」 （一部抜粋）

今まで通り、すべての参加されている方に、できることを一緒にやる習慣を大切にすることで、そのことが結果的に感染予防につながります。

- * 花は今までと同じように参加されている方に出番づくりを
- * 座る距離が離れてお互いの交流が難しく、その環境に慣れていないため、孤独になりやすい。細やかな声掛けを
- * 参加者どなたに対しても、常に平等な態度で、さらに頼み上手になって、みんなで一緒に、新型コロナウイルスがあることを前提にした新しい「実家の茶の間・紫竹」づくりをしましょう

最初は、
連絡先と健康状態記入の
お願い



さりげない会話から健康状態を判断



健康状態チェックでしっかり検温



マスク着用のまま食べられる食品として飴を配布



袋に入れるのもできる人がやる！

入室前に丁寧な手指消毒



当面の間
参加時間 2時間まで
参加費 200円

よく触る机の裏面も消毒



奥から玄関側を見た机配置。座布団とマークで誘導



外への換気と、対面にならないようにソファを配置



お互いの距離を確保するため机対角線で椅子配置



コロナ前と
変わらない空気感！

会話だけでなく昼寝や瞑想で気ままに過ごし一体感を楽しむ



どなたが来られても
「あの人だね!!」と
いう目をしない。

プライベートを
聞き出さない。

その場にはいない人の
話はしない。

つながりを 続けるために なにが できるか

輝くとは
主役になること！

NEXT

心と心をつなぐ工夫と取り組み



住民たちは心が動いてはじめます

「気になる人のために」

「喜んでほしいという思い」

行政・生活支援コーディネーター
のみなさんへ

住民たちの声を聞き、想いを活かせる
環境づくりや後方支援を！！

今こそ、つながりが大切と多くの人実感

今だからできることがある
住民だからできることがある

多様なつながりが広がることで
たくさんのお出番と役割が生まれ、
誰もが輝ける心豊かな地域づくりへ

動画を作成しました。さわやか福祉財団ホームページからご覧ください